

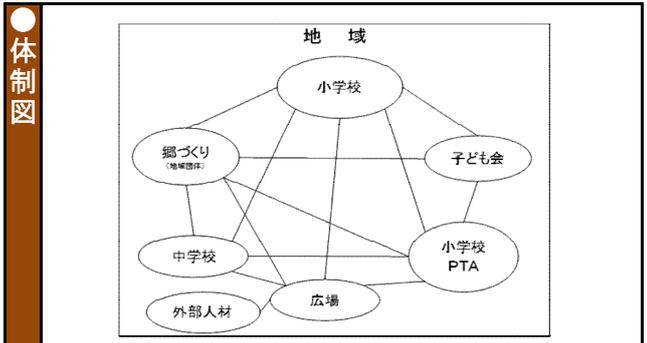
こんな活動です

地域ぐるみの子育てを目指して 一子どもたちが輝く明日のために

福岡県福津市	●活動名 つやざきアンビシャス広場	●関係する学校名 福津市立津屋崎小学校
--------	----------------------	------------------------

協働活動開始年度	平成 27 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	32 学級	のべ児童・生徒数	849 人
活動区分	—	—	—	放課後子供教室	—	—	—
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数	—	地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数	7人
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	—	延べ登録人数	—	企業・NPO等との連携	有
参考URL	http://www.ambitious.pref.fukuoka.jp/circle/detail?h_id=62						

●連絡先	つやざきアンビシャス広場運営委員会	☎	090-6429-3412
------	-------------------	---	---------------



●活動の概要・経緯

拠点である津屋崎小学校の協力の下、地域の方・保護者・学生などがボランティアとして子供を見守る居場所を平成14年から開設している。つやざきアンビシャス広場は「子ども同士の出会い、子供と大人の出会い、大人同士の出会い」の場としての機能を担っており、地域ぐるみでの子育てを目指し、地域で活動している団体・小学校PTA・中学校PTAをつないで活動している。平日は放課後の子供の居場所として、子供たちは学年を超えて思い思いの活動を実施している。また、土日や長期休業日は、外部人材を活用して、自然体験や宿泊体験、社会体験などの豊かな体験・教育活動を実施している。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①保護者に2～3か月に1回、放課後の見守り当番をお願いしている。当番の日には児童の弟や妹(乳幼児)を連れて来る方もいて、小学生が乳幼児と触れ合う場となっている。
- ②社会体験として、年数回はバスや電車などの公共交通機関を利用して市外に行く活動を実施している。
- ③15年超と長期に亘って活動してきたことから、つやざきアンビシャス広場を巣立った中学生や大人が、見守りや指導者として活動するという機運が醸成されている。また、上級生が下級生に遊び方や料理などの体験活動を教えている。
- ④土日や長期休業日に、地域の特産品の畑や観光地を巡るウォークラリーを開催するなど、地元へ愛着が湧く活動を取り入れている。

【実施に当たっての工夫】

つやざきアンビシャス広場は、地域の大人が主体となって運営委員会を設置して運営している。拠点となっている小学校との連携を図るため、適宜、先生方と情報提供し合いながら、子供たちの安全・安心な居場所づくりにも努めている。また、地域ぐるみでの子育てを目指すため、地域の読み聞かせ団体や自然学校、食品加工所などの団体の協力を得て、子供が地域の大人と繋がる機会を設けている。

保護者には、学校や家庭以外で過ごす子供の様子を見て、子供の成長を感じてもらうため、2～3か月に1回、子供たちの見守り当番をしてもらっている。当番制を採用することで、どんな活動をしているか保護者が理解し、安心して子供たちを参加させている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

「地域ぐるみの子育て」を目指し、地域の大人が積極的に体験活動の指導をしている。指導に関わった大人からは「子どもから元気をもらった」という声がある。

自由遊びやさまざまな体験活動を通して、異年齢間交流が盛んに行われ、上級生が下級生の面倒をみたり思いやりの心や感謝の気持ちで育まれたりしている。

活動の終了時には、帰りの会を子供の司会で実施しており、1年間で子供が物怖じせず人前で話せるようになっていく。

保護者が活動を見守ることで、活動への理解や協力が進んでいる。

外部人材の方の活動への理解や協力が進み、毎年、子供たちに指導してもらえる関係が構築できた。

●その他

平日のつやざきアンビシャス広場には、お母さんと乳幼児も参加。休日は、月に1～2回、地元の自然環境や人材を活用した様々な体験活動を行っている。



とき松林に詳しい方々を自然学習に招いて



放課後の居場所―乳幼児との出会いも楽しい時間―